2014年3月期　決算説明会

2014年5月22日

あすか製薬株式会社

2014年3月期　連結決算概要

あすか製薬株式会社
取締役　丸尾　篤嗣

損益計算書(連結)

単位:百万円	2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率
売上高	40,963	39,501	△1,462	△3.6%
売上原価	23,054	22,431	△622	△2.7%
売上総利益	17,908	17,069	△839	△4.7%
販売費及び一般管理費	16,847	16,353	△494	△2.9%
営業利益	1,061	716	△345	△32.5%
経常利益	1,336	1,031	△305	△22.9%
特別利益	359	―	△359	―
特別損失	104	83	△20	△19.9%
当期純利益	1,114	495	△618	△55.5%

事業別売上高（連結）

単位：百万円

	2013年3月期	2014年3月期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	37,114	35,598	90.1%	△1,515	△4.1%
動物用医薬品	3,528	3,619	9.2%	91	2.6%
その他	321	283	0.7%	△37	△11.8%
合計	40,963	39,501	100.0%	△1,462	△3.6%

主要製品売上高

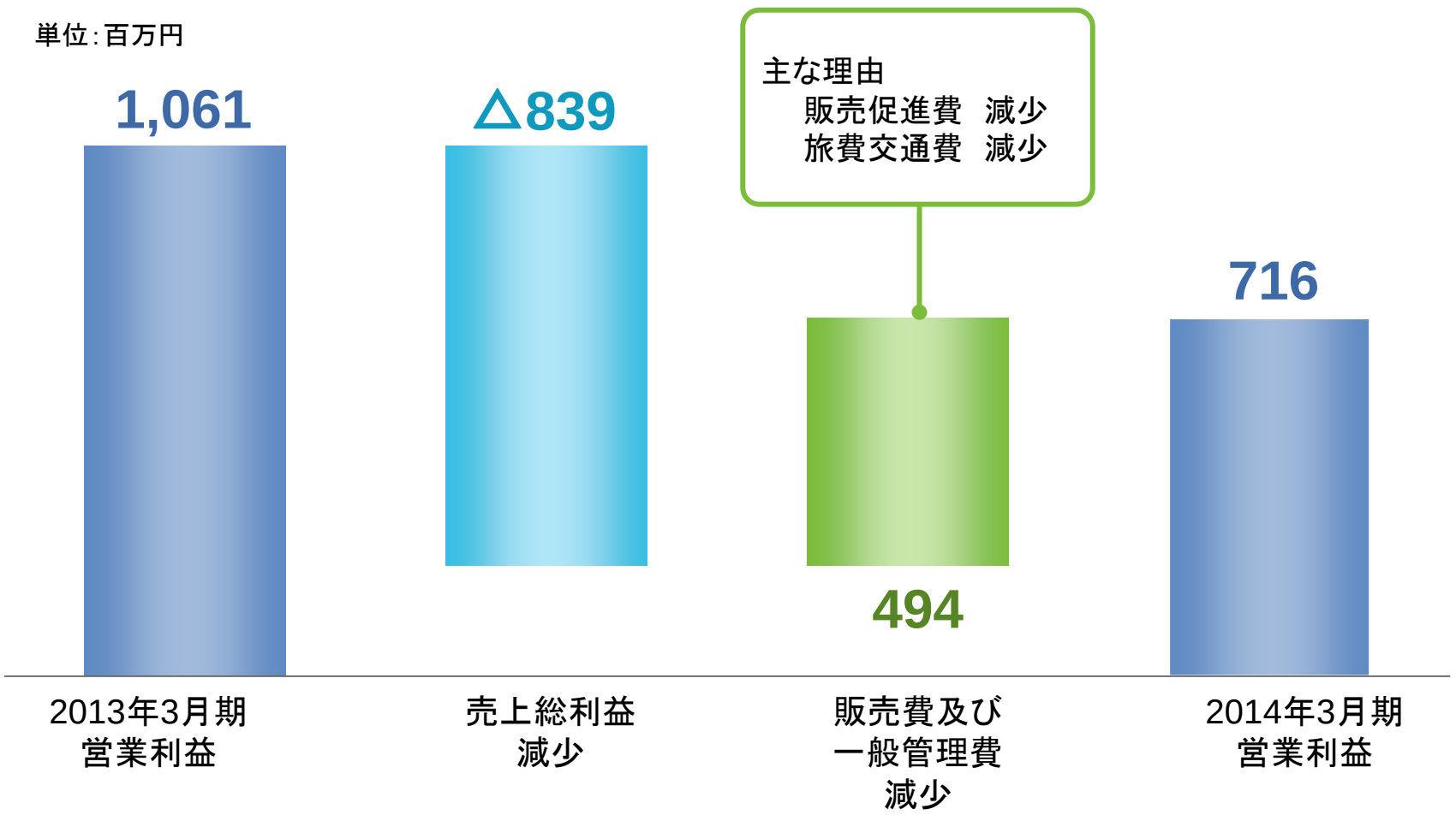
単位：百万円

領域	製品	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期	
		実績	実績	前同比(%)	予想	前年比(%)
内科	セルタッチ	4,856	3,451	71.1	1,750	50.7
	チラーヂン	4,592	4,596	100.1	4,840	105.3
	リピディル	4,122	4,417	107.2	4,570	103.5
	アルタット	1,626	1,194	73.5	1,090	91.3
	※ アムロジピン「あすか」	1,842	1,867	101.4	1,690	90.5
	※ ラベプラゾール	680	839	123.3	910	108.5
計		(17,720)	(16,367)	(92.4)	(14,850)	(90.7)
産婦人科	**アンジュ**	1,234	1,224	99.2	1,100	89.9
	ノルレボ	535	696	130.2	740	106.3
	メノエイド	436	529	121.3	570	107.8
	※ ルテオニン	611	646	105.7	730	113.0
	※ ゴナピュール	291	276	94.7	280	101.4
計		(3,110)	(3,374)	(108.5)	(3,420)	(101.2)
泌尿器科	プロスタール	1,990	1,630	81.9	1,540	94.5
	※ ビカルタミド	2,080	2,116	101.7	1,890	89.3
	※ リストリーム	606	669	110.4	600	89.7
	※ リュープロレリン	--	320	--	2,330	728.1
	エナルモン	170	204	119.5	180	88.2
計		(4,847)	(4,940)	(101.9)	(6,540)	(132.4)

※：ジェネリック医薬品　　太字：ニッチ領域製品

営業利益増減分析（対前同）

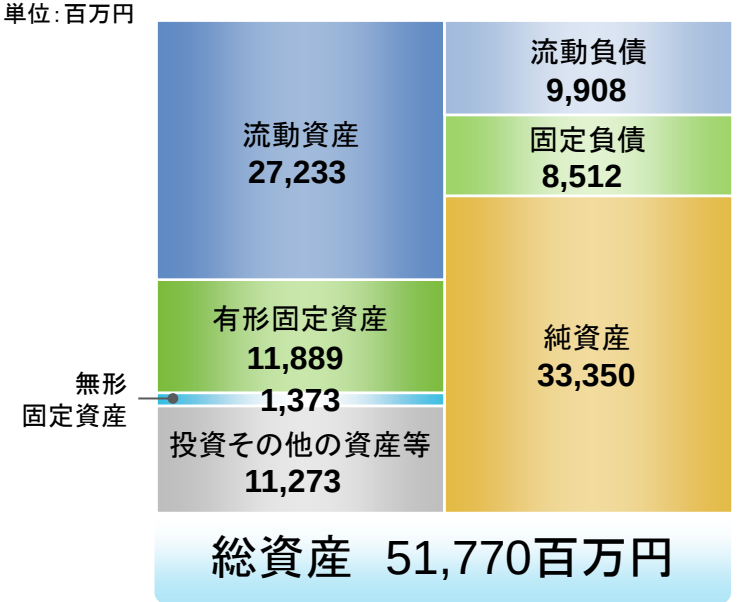
単位：百万円



貸借対照表（連結）

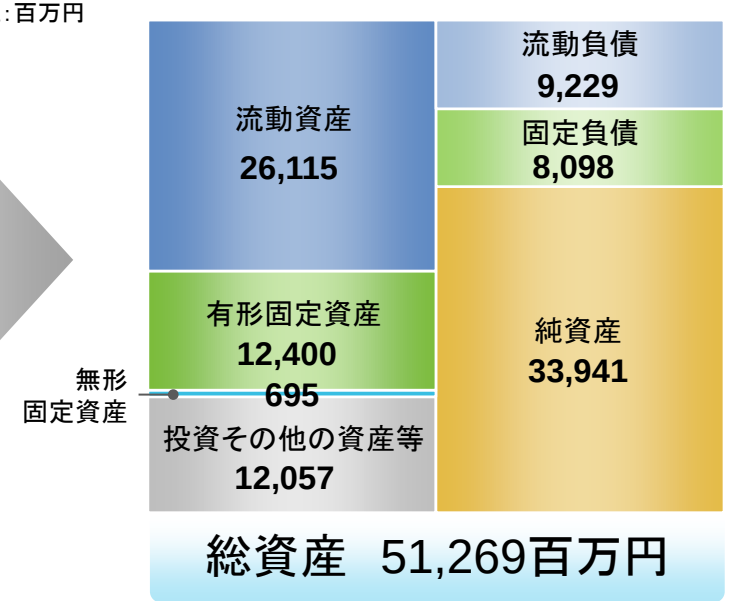
2013年3月期末

単位：百万円



2014年3月期末

単位：百万円



	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産等	流動負債	固定負債	純資産
増減額	△501	△1,118	510	△678	783	△679	△413	590

分析

- 流動資産：受取手形及び売掛金 △1,836、棚卸資産 △338、前渡金 415、未収還付金 386
- 有形固定資産：新規取得 1,945、減価償却費 △1,425
- 無形固定資産：新規取得 251、減価償却費 △929
- 投資その他の資産等：投資有価証券 1,089、長期性預金 △300
- 流動負債：支払手形及び買掛金 △238、短期借入金 833、未払税金 △1,222
- 固定負債：長期借入金 △1,058、退職給付に係る負債 807、長期未払金 △100、
- 純資産：利益剰余金 107、その他有価証券評価差額金 814、退職給付に係る調整累計額 △399

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）	2013年3月期	2014年3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	3,869	**2,616**
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,484	**△2,301**
財務活動による キャッシュ・フロー	124	**△574**
現金及び 現金同等物の期末残高	6,578	**6,318**

2015年3月期業績予想（連結）

単位：百万円

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	39,501	43,000	3,499	8.9%
営業利益	716	1,000	284	39.6%
経常利益	1,031	1,300	269	26.1%
当期純利益	495	800	305	61.4%

株主還元について

配当方針

- 2014年3月期は、期末配当金を7円とし、中間配当金7円と合わせ年間14円といたします。
- 2015年3月期は、安定配当として年間配当金14円を予定しております。
- 今後の配当につきましては、安定的な配当の継続を基本とし、業績、今後の事業展開および財務状況等を総合的に勘案して実施し、成果の配分を高めるよう努めてまいります。

2013年度　総括
ASKA PLAN 2015　進捗状況

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

2014年3月期 連結決算概況

単位：百万円	2013年3月期	2014年3月期	増減率
売上高	40,963	39,501	△3.6%
営業利益	1,061	716	△32.5%
経常利益	1,336	1,031	△22.9%
特別利益	359	―	―
特別損失	104	83	△19.9%
当期純利益	1,114	495	△55.5%

総括

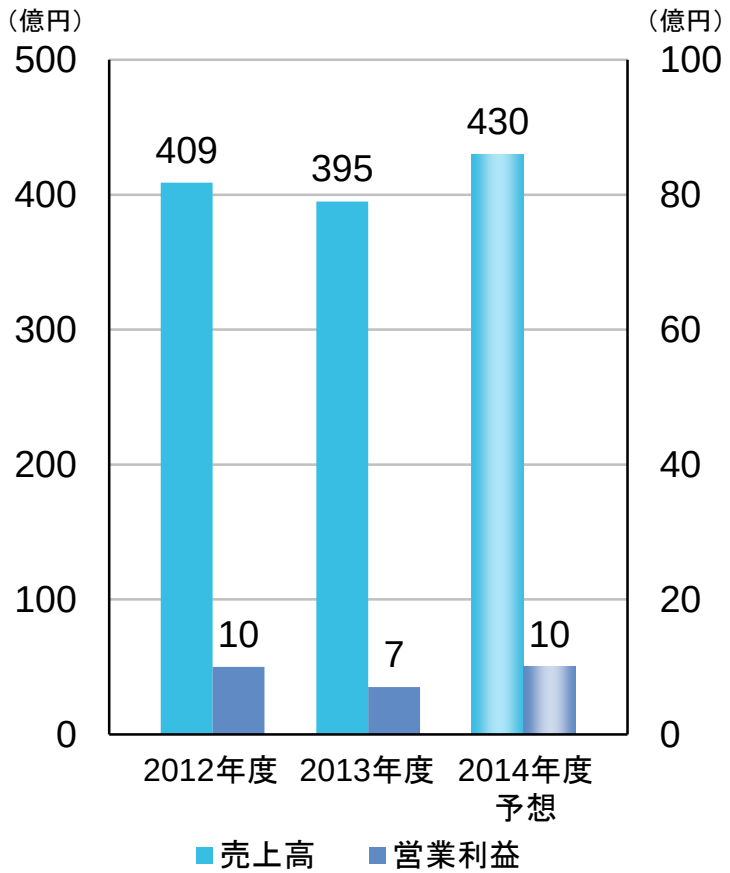
- 売上面では、新製品6成分11品目を発売しましたが、長期収載品の売上減少の影響等から、3.6%減の395億1百万円となりました。
- 利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、売上高の減少および売上原価率上昇の影響により、営業利益7億1千6百万円、経常利益10億3千1百万円とそれぞれ減益となりました。

2013年度トピックス

1. いわき工場に「新品質管理棟」を竣工（4月）、稼働（5月）
2. 「リファキシミン」オーファンドラッグに指定（5月）
3. 子会社「あすかアニマルヘルス（株）」の設立（6月）
4. ジェネリック事業の拡大を視野に「あすかジェネリック事業本部」をスタート（10月）
5. 「カンデサルタンAG」の製造販売承認取得（2月）
6. リュープロレリン酢酸塩注射用キット1.88mg、3.75mg「あすか」を新発売（2月）

2013年度　総括

- 中期経営計画に基づき、後発医薬品事業の拡充を目的に「あすかジェネリック事業本部」を新設し柔軟かつスピーディーな経営を展開致しましたが、予想を超える長期収載品の売上減少の影響から減収減益となり、純利益についても前期に震災関連の特別利益を計上した反動により減益（前連結会計年度比55.5%減）となりました。



目標	成果・結果
数値目標（連結） 売上高　：419億円 営業利益　：　7億円	売上高未達であったが営業利益は計画通り 売上高　：395億円 営業利益　：　7億円
新経営体制の確立 経営と執行の分離	ガバナンス体制、組織改正の実施
事業の選択と集中 投資効率の改善	あすかジェネリック事業本部新設 あすかアニマルヘルス（株）分社化
生産性の向上 コストの最適化	いわき工場内製化 プロスタール・パラミヂン
その他	単元株を100株に変更

課題

薬価制度改定によるジェネリック品薬価への影響

既存品　特に長期収載品の低迷

リュープロレリン「あすか」 安定供給と安全性確保

2014年度　取り組み

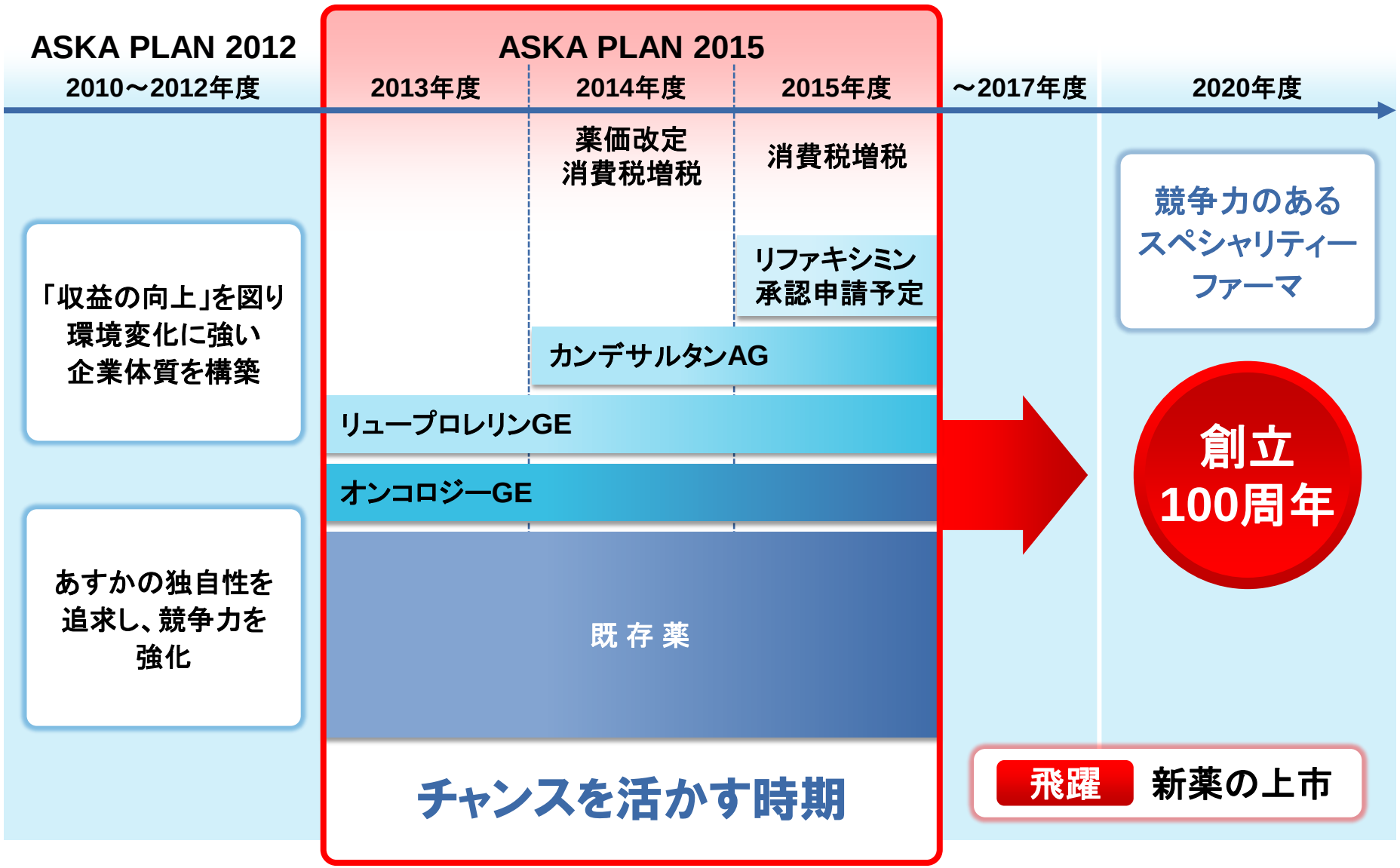
ASKA PLAN 2015　2年目として

2014年度の取り組み

中期経営計画「ASKA PLAN 2015」の方針に基づき、重点3領域に資源を集中し、競争力のあるスペシャリティーファーマの基盤を育成する。

1. 次期新製品の開発促進
2. ジェネリック事業の拡大
3. ニッチ領域への取り組み
4. いわき工場の生産性向上

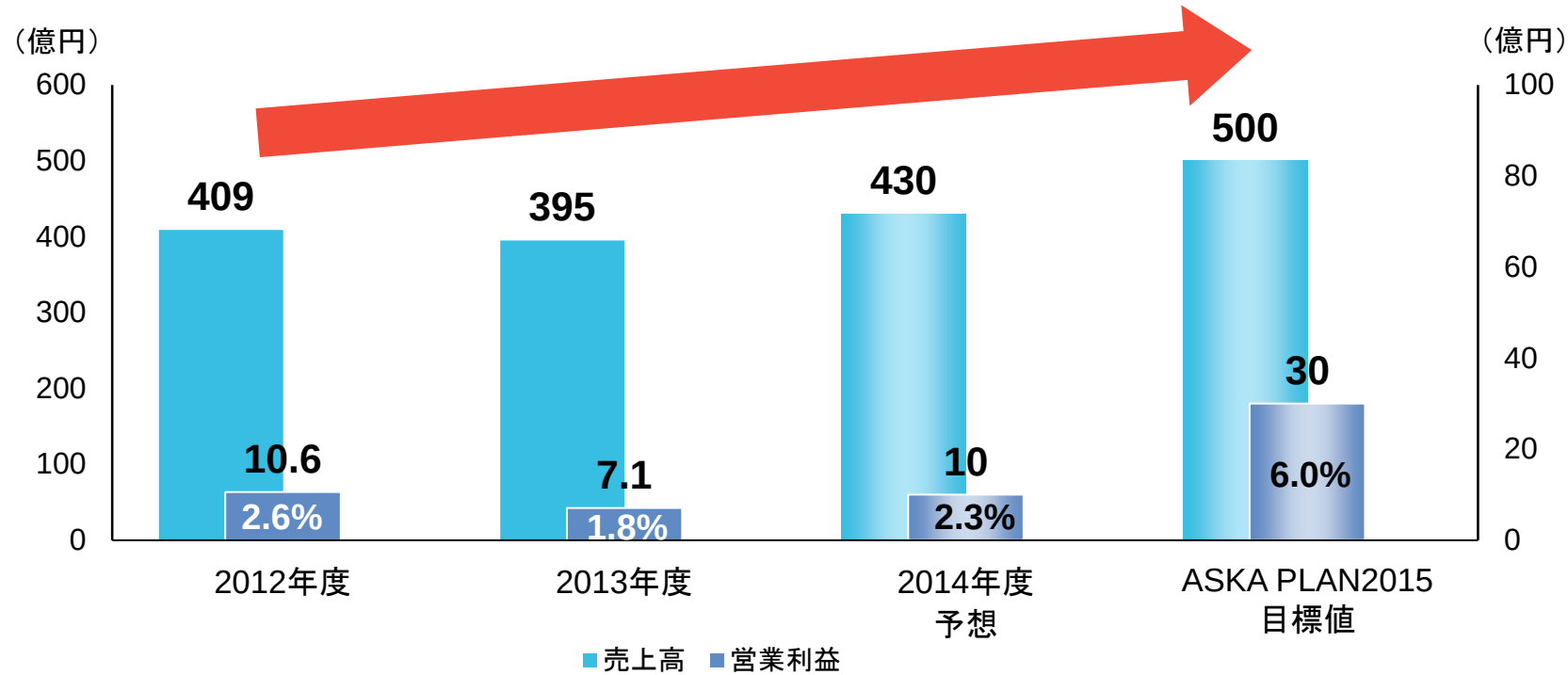
ASKA PLAN 2015の位置づけ



数値目標

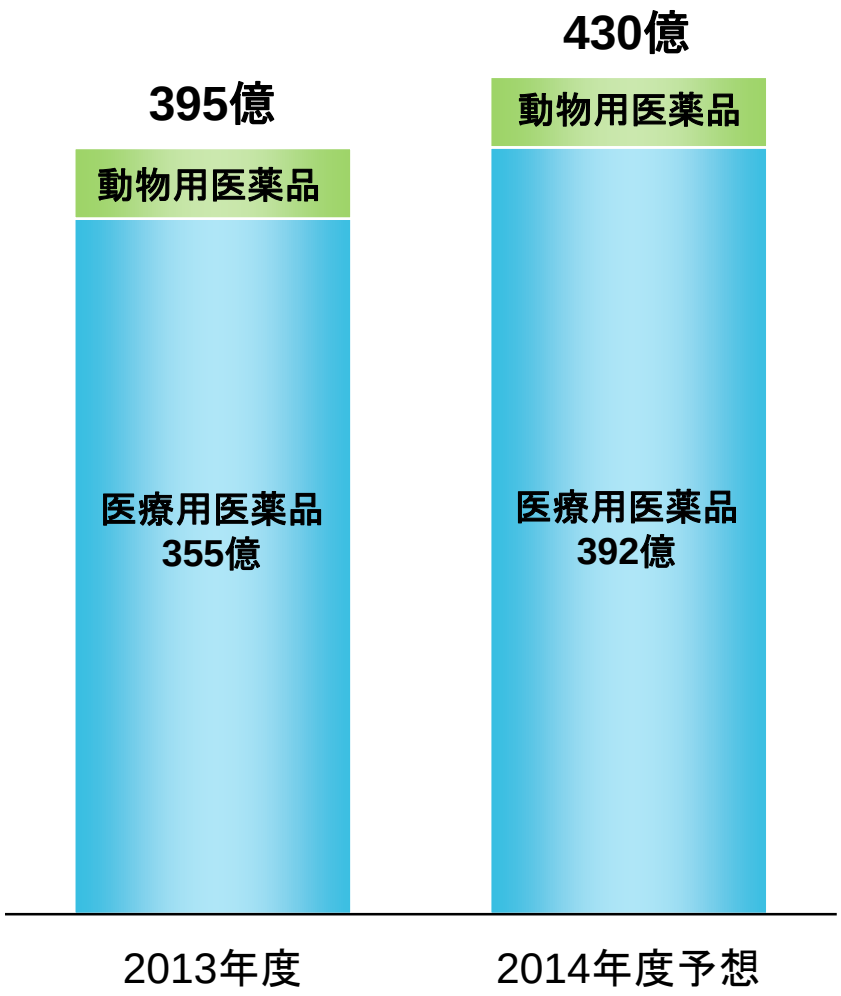
連結

（単位：億円）	2013年度実績	2014年度	2015年度
売上高	395	430	500
営業利益	7.1	10	30
営業利益率	1.8%	2.3%	6.0%

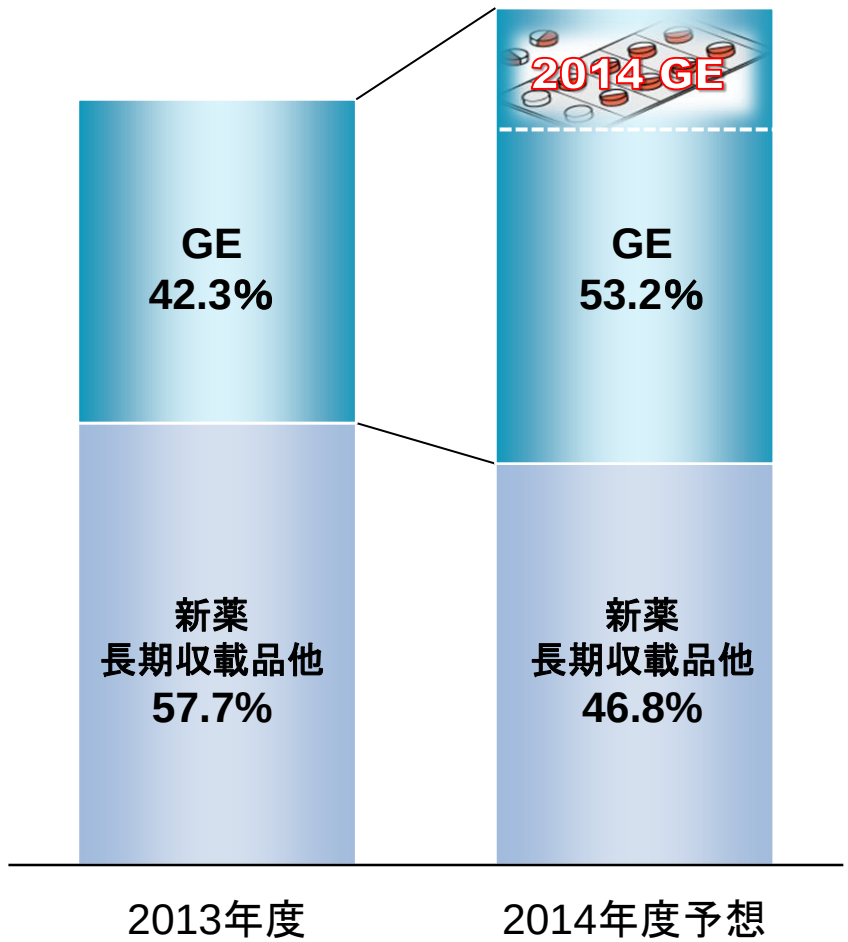


2014年度　売上構成

事業別売上構成



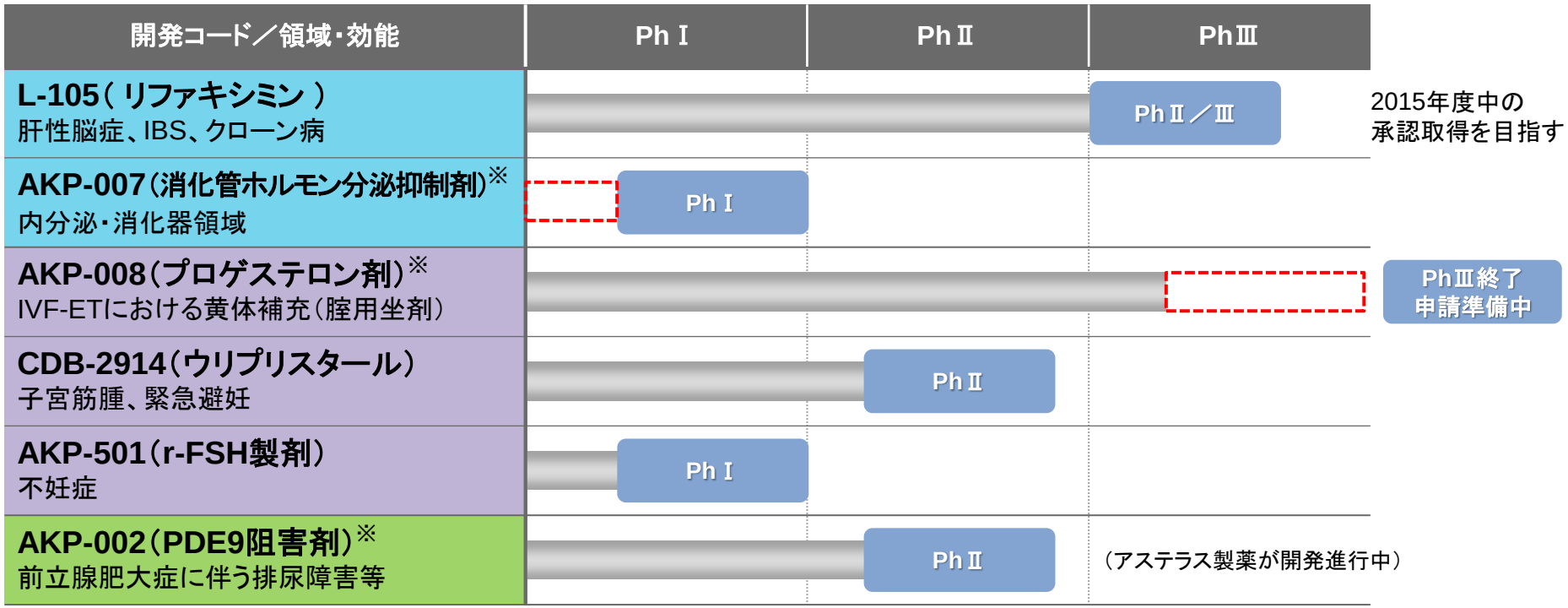
製品区分別売上構成



次期新製品の開発促進

- 重点3領域に研究開発資源を集中させ、重要テーマ（L-105，CDB-2914，AKP-008）については、臨床開発体制を強化して取組む。
- 特にL-105については2014年度内に臨床試験終了。

研究開発の状況（2014年5月現在）



ジェネリック事業の拡大①　－2014年度4成分10規格を予定－

- あすかActavis製薬と共同でジェネリック医薬品市場への浸透と製品開発を進め、グループとしての事業活動を確立させる。
- 大型製品、独自の技術を応用した付加価値製品を発売する。

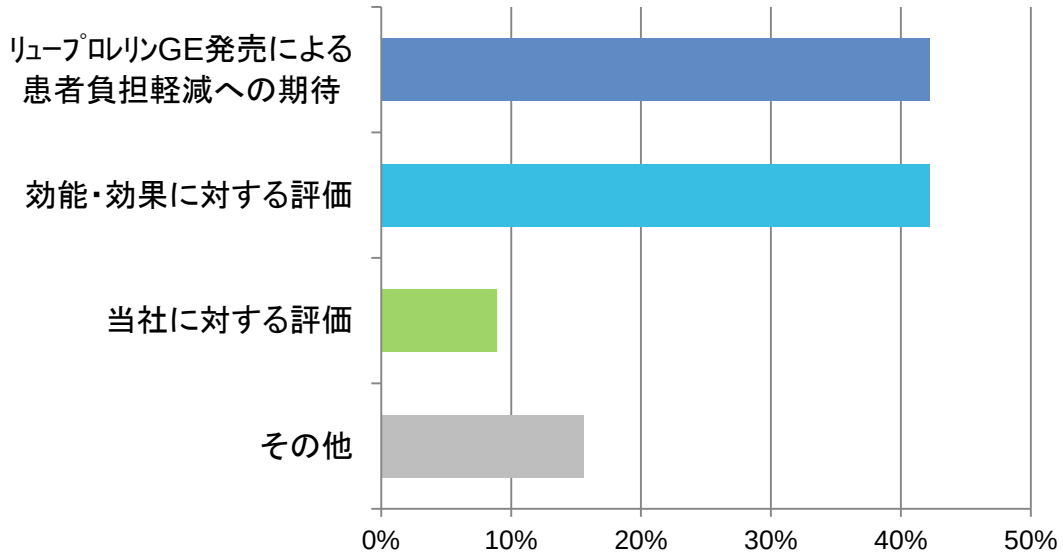
	2013年度	2014年度予定
産婦人科／泌尿器科	リュープロレリンGE	
内科	リルゾールGE プラミペキソールGE等	バルサルタンGE ロサルヒドGE カンデサルタンAG等
総計	**6成分 11規格**	**4成分 10規格**

＊オンコロジーGEは開発準備中

ジェネリック事業の拡大②　ーリュープロレリンGEー

リュープロレリン酢酸塩注射用キット1.88mg・3.75mg「あすか」

リュープロレリンGEに関連する研修会での医療関係者コメント抜粋　（複数回答）



（*社内資料より作成）

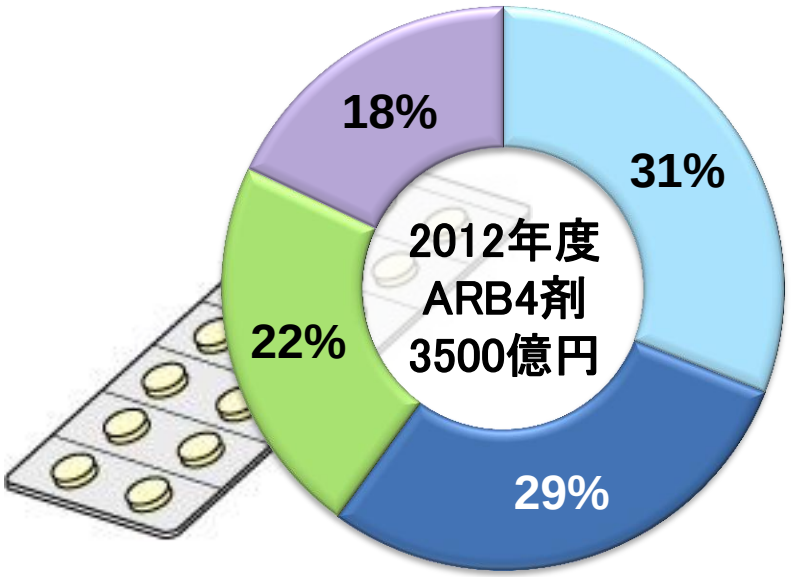


確実な安定供給体制の確立

ニーズに即した情報提供活動

ジェネリック事業の拡大③　ーカンデサルタンAGー

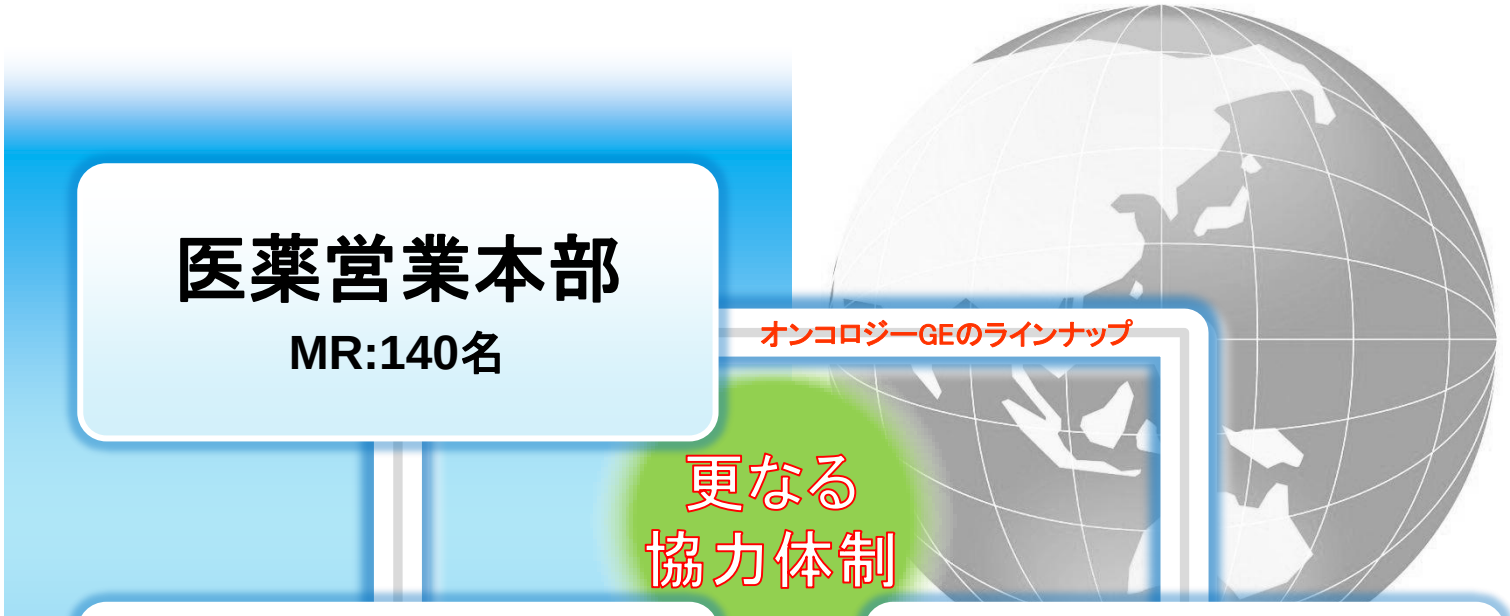
- 本年2月、厚生労働省よりカンデサルタン錠「あすか」の製造販売承認を取得し、**6月の薬価収載に向けて薬価申請**を行っています。
- 本剤はブロプレスと**原薬・添加物・製造方法が同一のAG**を患者さんや医療関係者の皆さんの幅広いニーズに対応可能です。
- あすか製薬と武田薬品はブロプレスのAGの発売を通じ、高血圧症治療に一層貢献すると共に多様な医療ニーズにお応えします。



カンデサルタン錠　2mg「あすか」
カンデサルタン錠　4mg「あすか」
カンデサルタン錠　8mg「あすか」
カンデサルタン錠12mg「あすか」

① 適正使用の推進
② 情報の提供・収集
③ 品質・有効性・安全性の確保
④ 安定供給

ジェネリック事業の拡大④　－Actavisとの提携とGEビジネス－



Actavis

- 世界3位のGEラインナップ
- 泌尿器・産婦人科の新薬

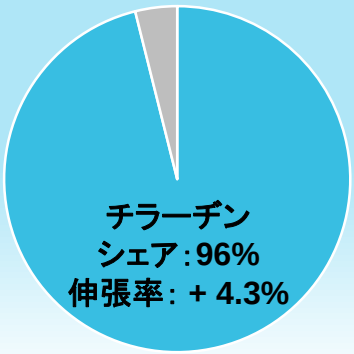
ニッチ領域への取り組み：あすかオリジナル啓発活動

内科・産婦人科領域

甲状腺機能障害

甲状腺機能低下症

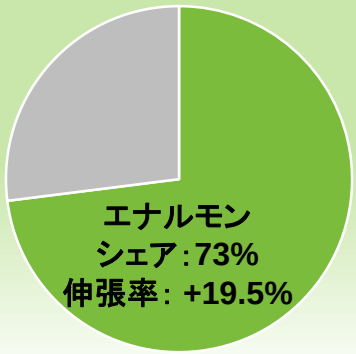
妊娠と甲状腺



泌尿器科領域

性ホルモン機能障害

男性更年期障害

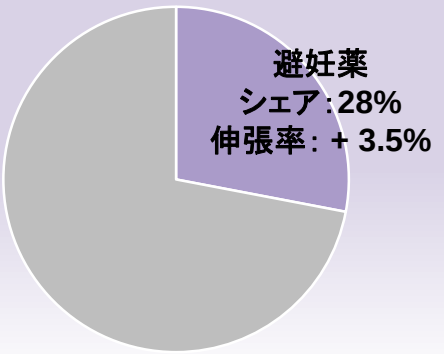


産婦人科領域

Women‘s Health

月経周期と避妊

女性更年期障害



患者・ユーザーにとって
マストな製薬企業で
あるために

患者向け指導せん・
小冊子等の充実

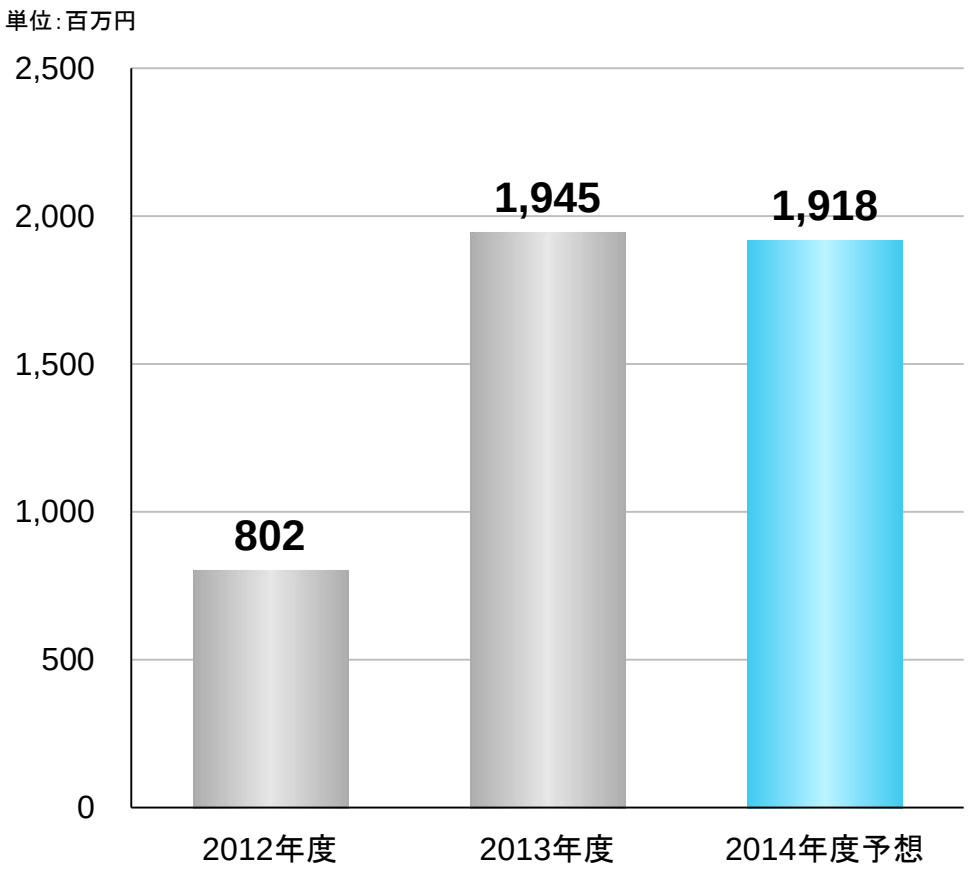
研究会・講演会開催
オンラインコンテンツ
（サイロイドアイランド）の周知

内科領域　泌尿器科領域　産婦人科科領域　円グラフ：シェア　数字：2012年度比

いわき工場の生産性向上　－稼働率向上・第4製剤棟建設着手－

内製化へ向けた設備投資

設備投資





内製化

- 2013年度実施
  - プロスタール・パラミヂン
- 2014年度実施予定
  - アムロジピン・ミクトノーム・ルテオニン・メチルエルゴメトリン

新規設備投資

- 第4製剤棟建設着手

2014年度　各事業の取り組み

あすかアニマルヘルス

■「栄養と繁殖・免疫」領域の強みを活かし、
収益の向上を目的とした事業を構築する。



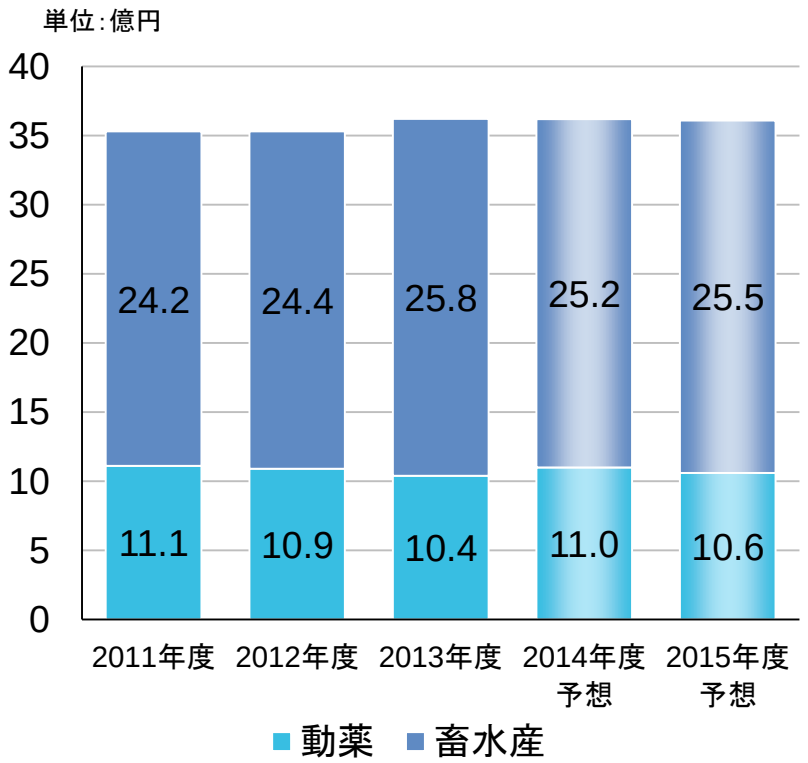
戦略品の育成

栄養
アイブロンシン（マクロライド系抗生剤）
野外試験成績のアピール

繁殖
L-アルギニン
野外試験成績のアピール

免疫
フリーバランス
牛・豚の免疫賦活試験実施

売上高



あすか製薬メディカル

- 検査事業とヘルスケア事業の売上伸張を目指した事業展開を進める。



INVESTIGATION BUSINESS
検査事業



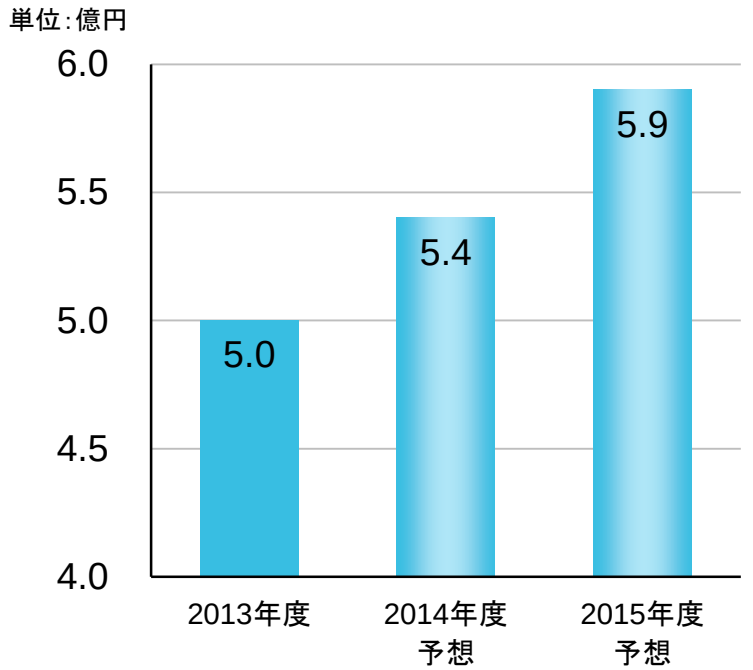
先進的な検査を通じて最新の医療と研究を支援します

HEALTHCARE
ヘルスケア事業



女性のヘルスケアと人々の健康づくりに貢献します

売上高



- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

経営企画部

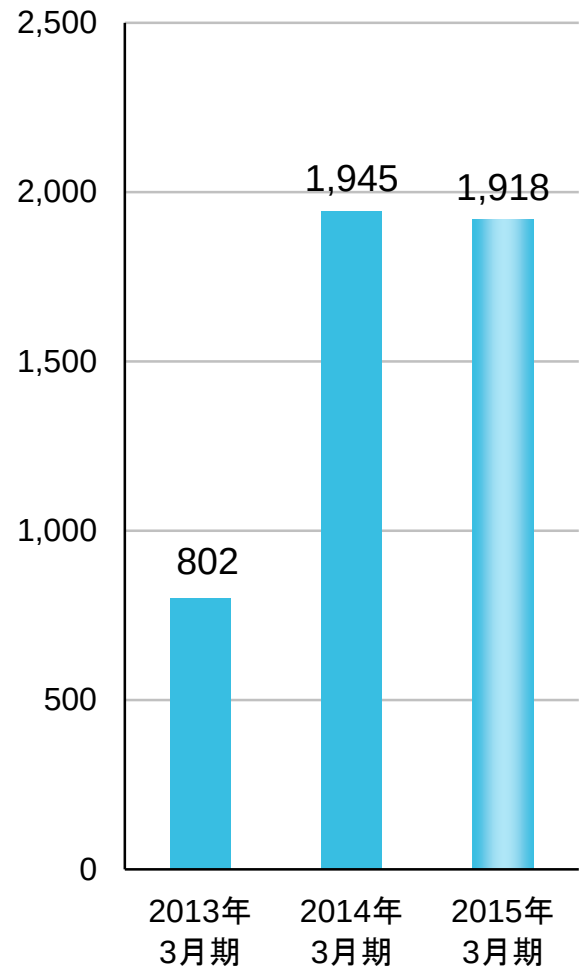
Tel　：03－5484－8366

e-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

ご参考：設備投資等の概要

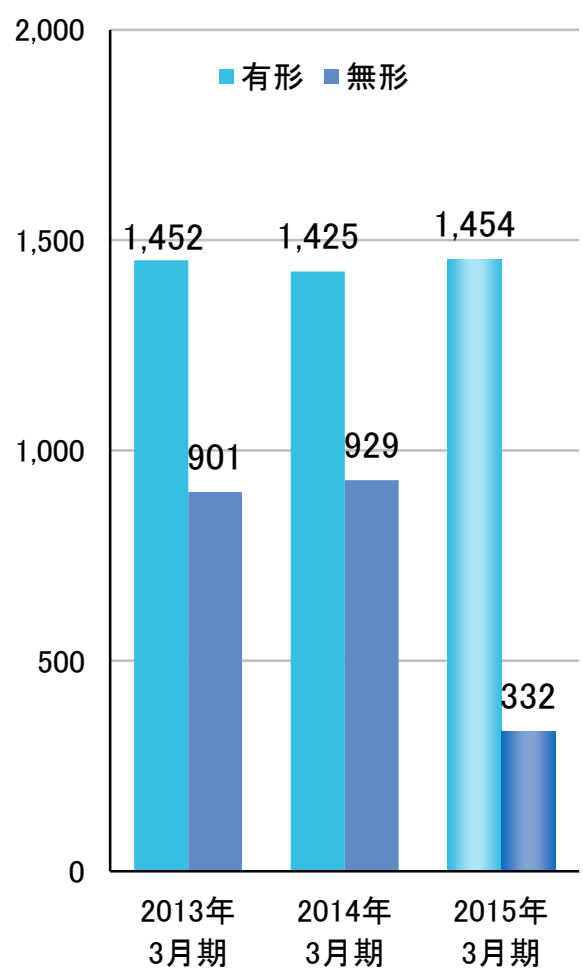
設備投資

単位：百万円



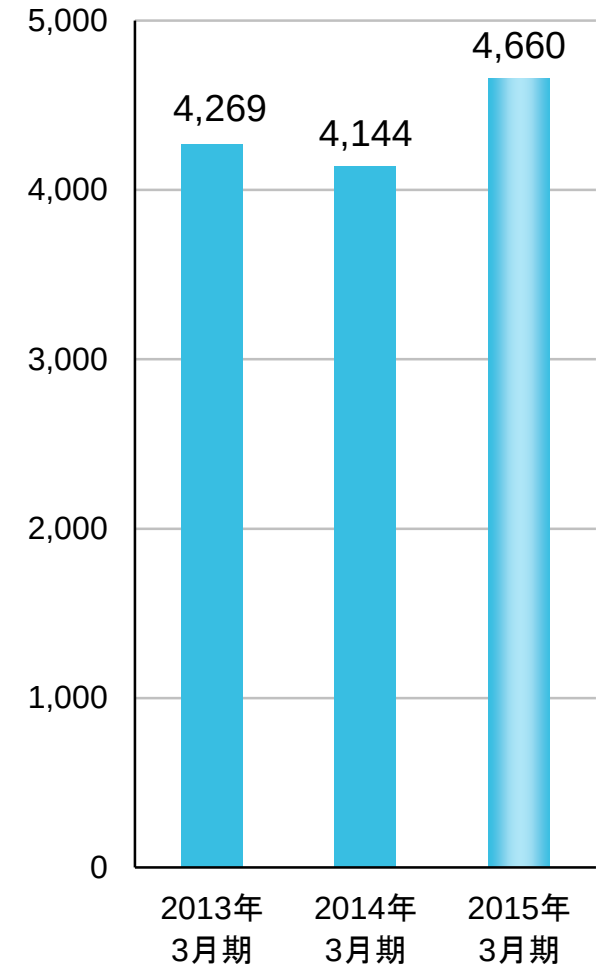
減価償却費

単位：百万円



研究開発費

単位：百万円



ご参考：医療用医薬品の売上構成比・伸張率

